

**会員事業所景況実態調査令和元年7月～令和元年9月分集計結果**  
**調査依頼数:534 回答数107 回答割合:19.9%**

令和元年度2回目の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。  
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。  
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

**★DI値とは**

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から  
 減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。  
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で  
 景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

**【質問 A】 前年同時期と比較した7月～9月の景況**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	23	49	34	106	▲ 10.4	▲ 33.3
	採算	13	50	43	106	▲ 28.3	▲ 28.2
	仕入単価	3	45	56	104	▲ 51.0	▲ 48.1
	従業員	34	64	8	106	24.5	23.1
	業況	10	56	40	106	▲ 28.3	▲ 28.9
	資金繰り	8	77	20	105	▲ 11.4	▲ 12.8
建設・建築業	売上	5	14	7	26	▲ 7.7	▲ 41.2
	採算	3	11	12	26	▲ 34.6	▲ 52.9
	仕入単価	0	10	15	25	▲ 60.0	▲ 58.8
	従業員	13	12	1	26	46.2	23.5
	業況	4	13	9	26	▲ 19.2	▲ 43.8
	資金繰り	3	17	5	25	▲ 8.0	▲ 35.3
製造業	売上	3	7	10	20	▲ 35.0	▲ 56.3
	採算	2	8	10	20	▲ 40.0	▲ 18.8
	仕入単価	1	5	14	20	▲ 65.0	▲ 81.3
	従業員	6	13	1	20	25.0	6.3
	業況	2	7	11	20	▲ 45.0	▲ 26.7
	資金繰り	2	11	7	20	▲ 25.0	▲ 6.3
卸・小売業	売上	5	10	8	23	▲ 13.0	▲ 46.7
	採算	3	10	10	23	▲ 30.4	▲ 20.0
	仕入単価	2	8	13	23	▲ 47.8	▲ 33.3
	従業員	7	15	1	23	26.1	26.7
	業況	0	14	9	23	▲ 39.1	▲ 46.7
	資金繰り	0	19	4	23	▲ 17.4	▲ 13.3
飲食・サービス業	売上	8	10	5	23	13.0	▲ 10.5
	採算	4	14	5	23	▲ 4.3	▲ 15.8
	仕入単価	0	13	10	23	▲ 43.5	▲ 33.3
	従業員	7	13	3	23	17.4	26.3
	業況	4	14	5	23	▲ 4.3	▲ 15.8
	資金繰り	3	19	1	23	8.7	5.3
その他	売上	2	8	4	14	▲ 14.3	▲ 9.1
	採算	1	7	6	14	▲ 35.7	▲ 36.4
	仕入単価	0	9	4	13	▲ 30.8	▲ 27.3
	従業員	1	11	2	14	▲ 7.1	36.4
	業況	0	8	6	14	▲ 42.9	▲ 9.1
	資金繰り	0	11	3	14	▲ 21.4	▲ 18.2

**(全体)**

売上のDI値が20ポイント以上改善しているが、その他項目はほぼ横ばいとなっている。  
 特に仕入単価は▲50ポイント以上、採算や業況も依然として▲30ポイント近くとマイナス値が高くなっている。仕入単価では半数以上が  
 上昇と回答している。

**(建設・建築業)**

仕入単価、人手不足以外は改善しており、売上は30ポイント以上、業況、資金繰りも20ポイント以上改善している。しかしながら、  
 採算は依然として▲30ポイントとマイナス値が高くなっている。一方、仕入単価はほぼ横ばいであるが、依然として▲60ポイント以上  
 とマイナス値が高くなっている。また、人手不足は20ポイント以上悪化し、半数が人手不足と感じている。

**(製造業)**

売上は20ポイント以上、仕入単価も20ポイント近く改善しているが、依然として売上は▲30ポイント以上、仕入単価は▲60ポイント以上  
 とマイナス値が高くなっており、7割が仕入単価の上昇と回答している。採算、人手不足、業況、資金繰りでは20ポイント前後  
 悪化しており、特に採算、業況が▲40ポイント以上とマイナス値が高くなっている。

**(卸・小売業)**

売上、業況が改善しており、特に売上は30ポイント以上改善している。業況は依然として▲40ポイント近くとマイナス値が高くなっている。  
 採算、仕入単価では、10ポイント以上悪化し、採算は▲30ポイント以上、仕入単価は▲50ポイント近くとマイナス値が高くなっている。  
 仕入単価では、5割以上が上昇と回答している。人手不足、資金繰りではほぼ横ばいとなっている。

**(飲食・サービス業)**

仕入単価以外は改善しており、特に売上は20ポイント以上、採算、業況は10ポイント以上改善している。また売上、資金繰りはプラス  
 となっている。仕入単価は10ポイント以上悪化し、▲40ポイント以上とマイナス値が高くなっている。

(その他)

人手不足は40ポイント以上改善しマイナスに転じている。売上と業況では悪化し、特に業況は30ポイント以上悪化し、▲40ポイント以上とマイナス値が高くなっている。採算、仕入単価、資金繰りはほぼ横ばいとなっているが、採算、仕入単価は依然として▲30ポイント以上とマイナス値が高くなっている。

【質問 A】 9月と比較した10月～12月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	12	53	41	106	▲ 27.4	▲23.4
	採算	8	55	41	104	▲ 31.7	▲25.7
	仕入単価	2	47	56	105	▲ 51.4	▲43.4
	従業員	34	63	9	106	23.6	24.7
	業況	10	54	42	106	▲ 30.2	▲21.6
	資金繰り	7	75	23	105	▲ 15.2	▲13.0
建設・建築業	売上	3	14	9	26	▲ 23.1	▲25.0
	採算	2	15	9	26	▲ 26.9	▲43.8
	仕入単価	0	9	16	25	▲ 64.0	▲52.9
	従業員	13	11	2	26	42.3	23.5
	業況	2	16	8	26	▲ 23.1	▲37.5
	資金繰り	1	18	6	25	▲ 20.0	▲35.3
製造業	売上	2	9	9	20	▲ 35.0	▲31.3
	採算	3	6	11	20	▲ 40.0	▲25.0
	仕入単価	1	7	12	20	▲ 55.0	▲62.5
	従業員	6	13	1	20	25.0	12.5
	業況	3	6	11	20	▲ 40.0	0.0
	資金繰り	2	11	7	20	▲ 25.0	0.0
卸・小売業	売上	1	13	9	23	▲ 34.8	▲33.3
	採算	0	12	9	21	▲ 42.9	▲30.8
	仕入単価	0	10	13	23	▲ 56.5	▲42.9
	従業員	6	16	1	23	21.7	21.4
	業況	1	12	10	23	▲ 39.1	▲28.6
	資金繰り	0	17	6	23	▲ 26.1	▲14.3
飲食・サービス業	売上	6	8	9	23	▲ 13.0	▲15.8
	採算	3	14	6	23	▲ 13.0	▲5.6
	仕入単価	0	13	10	23	▲ 43.5	▲33.3
	従業員	7	13	3	23	17.4	42.1
	業況	4	12	7	23	▲ 13.0	▲16.7
	資金繰り	3	19	1	23	8.7	5.3
その他	売上	0	9	5	14	▲ 35.7	▲9.1
	採算	0	8	6	14	▲ 42.9	▲27.3
	仕入単価	1	8	5	14	▲ 28.6	▲18.2
	従業員	2	10	2	14	0.0	18.2
	業況	0	8	6	14	▲ 42.9	▲27.3
	資金繰り	1	10	3	14	▲ 14.3	▲27.3

(全体)

人手不足以外は、10ポイント未満であるが悪化する見通しである。特に仕入単価は▲50ポイント以上、採算、業況は▲30ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。人手不足はほぼ横ばいとなっており、依然としてDI値をみると人手不足であるが、適正の見通しが約6割となっている。

(建設・建築業)

採算、業況、資金繰りは10ポイント以上改善する見通しである。仕入単価、人手不足は10ポイント以上悪化の見通しであり、特に仕入単価は▲60ポイント以上、人手不足も▲40ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。売上はほぼ横ばいの見通しである。

(製造業)

仕入単価は10ポイント未満改善する見通しであるが、依然として▲50ポイント以上と高くなる見通しである。仕入単価以外は悪化する見通しであるが、特に業況は40ポイント以上、資金繰りは20ポイント以上、採算、人手不足は10ポイント以上悪化し、採算、業況は▲40ポイント以上、売上は▲30ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。

(卸・小売業)

全項目が悪化の見通しである。売上、人手不足以外は10ポイント以上悪化する見通しである。特に仕入単価は▲50ポイント以上、採算、業況は▲40ポイント前後、売上は▲30ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。

(飲食・サービス業)

売上、業況、資金繰りはわずかであるが改善する見通しで特に資金繰りはプラスに転じる見通しである。人手不足は20ポイント以上と大きく改善する見通しである。採算、仕入単価は10ポイント前後悪化する見通しで特に仕入単価は▲40ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。

(その他)

人手不足以外は悪化する見通しである。特に売上は20ポイント以上悪化し、他も10ポイント以上悪化する見通しである。採算、業況は▲40ポイント以上、売上は▲30ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。